

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3873500593		
法人名	有限会社 おきた建築		
事業所名	グループホーム おきた		
所在地	伊予郡砥部町原町 6 7 3 (電話) 089-962-3767		
管理者	沖田 紀子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMCS		
所在地	松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成20年9月8日	評価確定日	平成20年10月20日

【情報提供票より】 (平成20年8月5日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成15年3月28日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤	3人, 非常勤 9人, 常勤換算 6.74人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	15,000 ~ 18,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成20年8月5日現在)			
利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名
要介護3	5 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.22 歳	最低 75 歳	最高 90 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

居間の神棚に飾る「さかき」を取りにいかれる方や畑の野菜作りをされる方、俳句を詠まれる方もおられる。毎年、小学校の運動会には、紙の花を作り、プレゼントされ喜ばれている。お礼に小学校からお手紙もいただいている。図書館で本を借り、読まれている方もある。
 入院されているご家族の見舞いに行かれたり、お墓参りやご自宅の荷物をとりに戻られる方等にも、職員が同行されている。
 ご近所のお友達を訪ねて行かれる方がいる。季節ごとにお花見に出かけたり、日々の買い物に職員と行かれる方もいる。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、地域密着型サービスの観点から理念を新しくされた。又、新人職員の研修用に認知症ケアについての資料を作成し、職員間でも、日々のケアについての確認をされた。
<p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価は、ミーティング時、全職員で話し合い取組まれた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議の案内は、ご家族全員に行っておられる。「自己評価・外部評価について」「食事について」「避難訓練の様子を見てもらう」等、毎回テーマを決めて行っておられる。ご家族から、事業所で手作りされている食事についての感想もいただいた。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご家族へは、写真やメール、お手紙にて個別に報告をされている。運営推進会議時、話し合われたこと等についても伝えておられる。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会の清掃作業に利用者とともに参加された。又、時に、近所で一人暮らしをされている高齢者の方に、食事やおやつを運んでおられる。ご近所の方が野菜を安く分けてくださっている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム おきた

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

沖田 紀子

評価完了日

20年 8月 20日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>ホームで実施してきた5年間のケアを振り、認知症になっても住み慣れた地域で、その人らしい生活が継続していけるようにとの思いを込め、昨年末に管理者、計画作成担当者が新理念をつくりあげた。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では、「私たちは、住み慣れた地域の中で家庭的な雰囲気のもと、その人らしさを大切に、穏やかで安心した暮らしが継続できるように家族と共に支援します」という新しい理念を作成された。</p>		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>管理者がミーティングや、日々の支援の中で、おきたでの認知症ケアの目指すものについて日常的に話し、理念を共有していけるよう努めている。また、ホーム内にも掲示し、常に理念を意識できるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>理念を共用空間に掲示し、職員で共有されている。</p>		新理念になり、更にケアの統一を図れるよう今後も実践を通してながら、全職員に働きかけて行きたい。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>新理念が浸透できるよう、2カ月毎に送付しているホーム便りには、必ず理念を記載している。また運営推進会議などを通して、地域の方々にも理解が得られるよう現在取り組んでいる。</p>		引き続き運営推進会議や、家族との面談時には新理念が浸透していけるよう働きかけたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 管理者も職員も地元の人が多く、近隣の方とはもともと顔見知りの関係で、日常的にお野菜を頂いたり、おすそ分けをしたりのお付き合いはある。地元の利用が増え、利用者の友人や、知り合い等、町内の方の訪問が多くなった。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 散歩時には、ご近所の方とお話をしたり、小学校の下校時にも挨拶をしている。小学校との交流では、運動会で使用する紙で作ったお花をプレゼントし、小学生からお手紙を頂いたり、交流を図っている。またスタッフは町内の方がほとんどで、開設者の地元でもあり、近隣にも理解を得ている。 (外部評価) 町内会の清掃作業に利用者とともに参加された。又、時に、近所で一人暮らしをされている高齢者の方に、食事やおやつを運んでおられる。ご近所の方が野菜を安く分けてくださっている。		引き続き今までお付き合いのない近隣の方々に対しても、更に交流が深められるよう、運営推進会議等とおして少しずつ働きかけていきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議をとおして、地域の代表の方にグループホームについての理解を得ている段階で、地域に貢献できるまでには至っていない。		事業所としてどのような地域貢献ができるのか検討していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 運営者・管理者は、職員に外部評価・自己評価の意義や必要性をそのつどはなしている。何度か自己評価を実施した職員は、概ね意義を理解できている。今回は3か月前から日々のケアを振り返りながら、少しずつ自己評価に取り組んだ。 (外部評価) 自己評価は、ミーティング時、全職員で話し合い取り組まれた。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、地域密着型サービスの観点から理念を新しくされた。又、新人職員の研修用に認知症ケアについての資料を作成し、職員間でも、日々のケアについての確認をされた。		引き続き新しい職員へは自己評価、外部評価の取り組みが理解できるよう説明していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、会議の必要性やホームの実情、外部評価への取り組み等について話し、様々な立場の参加者からご意見や、ご感想をいただいております。日々のケアに活かせるよう努めている。しかし家族の参加が決まった方になりがちである。		より多くの家族が出席できるような、テーマや内容となるよう工夫していきたい。
			(外部評価)		
			運営推進会議の案内は、ご家族全員に行っておられる。会議では「自己評価・外部評価について」「食事について」「避難訓練の様子を見てもらう」等、毎回テーマを決めて行っておられる。ご家族から、事業所で手作りされている食事についての感想もいただいた。		今後、利用者も会議に出席いただき、日々の暮らしの様子についてお話いただくことを考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			町内にケアマネジャー連絡会などもあり、行き来がある。ホームで不明な点については、気軽に相談できる関係である。		
			(外部評価)		
			2ヶ月に1度、介護相談員の方を受け入れておられる。又、介護相談員と事業所の意見交換会等にも参加され、町内の事業所全体の情報を得るようにされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			管理者は、地域福祉権利擁護事業や、成年後見制度について理解し、相談があれば支援できる体制がある。職員はまだまだ制度について理解が不十分である。		職員は研修等に参加し、制度に対する知識を深める。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			高齢者虐待防止関連法の冊子を職員に目を通すよう指示はしたが、改めて虐待防止について勉強会などは実施していない。		虐待防止について職員同士が話しあう場を持ち、事業所内で虐待が見過ごされないよう努めたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際には、十分な説明を行って納得していただいている。また、不明な点についても、そのつど気軽に質問していただけるよう、管理者や、計画作成担当者の携帯電話の番号なども伝え、直ぐ連絡が取れるようになっている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々のかかわりの中から、ホームへの要望を聞き取れるように努め、聞かれた時は柔軟に対応している。しかし、要望を表出していただくのが、遠慮などもあり難しい。		要望を表出しやすい関係作りに努めたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の来訪時には、普段の様子について話したり、定期的にホーム便りを発行し、行事の様子や写真を見ていただいている。日々の介護記録を閲覧していただくこともある。金銭管理も1人1人のノートを作り、レシートと共に毎月、家族に報告できている。 (外部評価) ご家族へは、写真やメール、お手紙にて個別に報告をされている。運営推進会議時、話し合われたこと等についても伝えておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 入居時には役場や、国保連合会の苦情受付窓口も紹介しているが、家族が来訪された時、こちらから声をかけ、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりに務めている。 (外部評価) ご家族の来訪時にご本人の暮らしぶりを伝え、意見をいただけるよう働きかけておられる。現在は、ご家族からの意見や要望は少なめである。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 様々な場面で、職員と話し合いを持ち、意見を聞くよう心がけている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 管理者や、計画作成担当者が柔軟に動けるような勤務体制であり、職員の確保に問題はない。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の離職や、異動に際しては、書面で家族に報告し、引継ぎをしっかりと行っている。		
			(外部評価) 利用者、職員とも地元の方が多く、顔馴染みの関係の中で支援されている。		
'5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 前年自己評価をうけて、新人研修用の冊子を作成した。雇用時は職員のレベルに応じ、慣れることが出来るまで、日中4人体制としリーダーとなる職員が指導を行っている。 また、職員は外部の研修へ積極的に参加している。		さらに研修等に参加し、職員個々のレベルアップをはかりたい。
			(外部評価) 事業所では、外部研修受講時の費用面もバックアップされ、職員が、研修を受けやすいようすすめておられる。認知症ケアについての、新人研修用の資料に基づき、全職員でケアの振り返りをされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			町内にケアマネジャー連絡協議会があり、他の施設やグループホームと交流を図ることが出来る。また町内のグループホーム運営者とはネットワークがある。		
			(外部評価)		
			日常的に、町内のグループホームの管理者同士、連絡を取り合って相談し合っておられる。ケアマネジャー連絡会等でも意見交換を行っておられる。		又、管理者は、他の市町の事業所との交流もすすめていきたいと考えておられる。さらなる貴事業所のケアの質向上に向けて、ネットワークを広げていかれてほしい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			管理者は、職員一人ひとりの話を聞き、ストレスを溜め込まないよう親身になって相談にのっている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員個々が向上心を持って勤務できるように、運営者は勤務環境を整えるよう努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人が納得して入居できるよう、出来る限り努力しているが、家族の希望によりホーム入居を決定する 경우가多く、理解を得れる期間が短いケースが多い。		入居までに何度も見学にきていただいたり、デイサービスの利用をしていただく等、本人が納得できて入居できるような支援を、引き続き家族にも話していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) いつでも相談にのれる事を伝え、困り事や不安に対しては、親身になって対応している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 担当ケアマネジャーや、本人、家族ともよく話し合いを持ち、どのような支援が必要か見極め、入居を判断している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族に見学してもらい、ホームの雰囲気を味わっていただいたり、体験入所を受け入れたり、デイサービスのようにはしばらく通ってみたりも受け入れ可能で、スムーズな入居が図れるよう配慮している。 (外部評価) 入居前、利用者、ご家族に見学いただいたり、食事をしながら一緒に過ごしていただきたいよう、すすめておられる。又、入居間もない頃は、ご家族にも面会を多くしてもらおう等、協力いただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 共に生活しながら支え合うという事を大切にしている。日々喜怒哀楽があり、冗談を言い合ったり、歌を歌ったり、わがまを言われたり、落ち着かない時はそばに寄り添いながら、職員を家族のように思い生活していただいている。 (外部評価) 職員は、利用者に野菜作りについて教えてもらったり、訪問時、職員は、利用者に野菜の保存方法を教わっている様子がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者を共に支える為に、状態を報告したり、家族にお願いしたい事を頼む等の、支えあう関係は築けているが、家族はお世話してもらっているという遠慮があるのではないかと感じる。		より対等な関係で家族とお付き合いができるよう、運営推進会議や行事などを通じ、さらにお互いを理解し合っていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ゆったりと面会していただけるよう声かけしたり、ホームに来訪しやすい雰囲気作りに気をつけている。またホーム便りを定期的に送付し、ホームでの様子を報告している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 御近所の友人のお宅へ、利用者をお連れしたり、入院されているご主人の所へ面会に付き添ったりと、馴染みの関係が継続できるよう支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人一人の個性を大切にしながら、仲の良い方同士と一緒に過ごせるよう配慮したり、重度の認知症の方へ、他の利用者が本を読んであげる等の関わりを持ちたり、常にお互いを支え合いながら生活されている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院されて退居となった利用者や家族、施設へ入所された方などとも、面会させていただいたり、手紙等を通じて良好な関係が継続できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々のかかわりの中で、真意を確認するよう努めている。また困難な場合は、家族からも情報を得て本人の思いや希望をかなえられるよう努めている。		現状に満足することなく、本人の希望が1つでもかなうように、ミーティング等において職員全員で考えていきたい。
			(外部評価)		
			職員は、利用者との日々のかかわりの中で、個々の思いや意向の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時に、本人、家族よりアセスメントシートをもとに聞き取りを行い、今までの生活歴を把握するよう努めている。また、関係機関や担当ケアマネジャー等からも情報を得ている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			ミーティング時にケース事に話し合いをもち、現状を全職員が把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			職員と計画作成担当者が話し合い、計画作成担当者がケアプランを作成している。作成したものを家族に報告し意見をいただいている。		意見や質問をいただく事は少ないが、更に本人や家族の意見が反映できるように、意向を確認しながらケアプラン作成を行っていく。
			(外部評価)		
			ご家族や医師の意見も採り入れ、計画を作成しておられる。		さらに、日々の記録や介護計画書、アセスメント表等、今後も見やすさ分かりやすさ等の面から工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヶ月ごとに評価し、計画の見直しを行っている。また状態に変化があった時、入院された時などは期間に関係なく計画を見直している。		
			(外部評価)		
			介護計画は、3ヶ月毎の見直しと、状態変化時に見直すようにされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			利用者ごとにバイタルサイン、食事量、排泄、睡眠、水分摂取等、日々の状態を記録している。実施した事の記録になりがちである。		本人の言葉を大切に、よりケアプランに即した、記録になるようミーティングで検討したい。また、家族が読まれても利用者の状態がよくわかるような、記載を心がけたい。
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			通院介助や、入院時の付き添い、個別外出の支援等、家族や利用者の要望には柔軟に対応できる体制がある。		
			(外部評価)		
			入院されているご家族のお見舞いに行かれたり、お墓参りやご自宅の荷物をとりに戻られる方等にも、職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアや民生委員、消防署、小学校等とは協働できている。その他の機関においても、運営推進会議を通じて協働できるよう働きかけているところである。		運営推進会議を通して協働を図っていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスの要望が聞かれた事はないが、利用者や、家族の意向をくみ取り、必要に応じて対応している。また、担当ケアマネジャーとも連絡を取り、今後についての話し合いを持ったりしている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 砥部町施設ケアマネジャー連絡会に地域包括支援センター職員も出席され、事例検討会やその他、勉強会等を通してアドバイスをいただいたりしている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関のみならず、利用者や家族が希望する医療を受診できるよう常に支援している。また家族にかわって通院の代行も行い、かかりつけ医とも密な連携がとれるよう支援している。 (外部評価) 協力医が、月1回往診に来てくれるようになっている。又、歯科医は、希望時に往診に来てくれるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) ケースによって入居受け入れ時に、協力医療機関にある認知症の治療を専門とする心療内科への受診をすすめ、適切な診断や治療が受けられるよう支援し、とても親身に相談にのっていただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) ホームには看護師がおり日々の健康管理や、急病時には適切な対応がとれている。また、協力医療機関の訪問看護師や、外来看護師とも連携がとれており、気になる事は気軽に相談できる関係であり、大変心強い。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は、主治医、病棟看護師、家族等と密に連絡を取り合いながら、早期に退院できるよう働きかけ、入院によるダメージを最小限にできるようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時には重度化の指針、看取りの指針を説明しホームでの対応について知ってもらっている。重度化した場合や、看取りをする際には、そのつど医師や、看護師、家族、ホームで話し合いを持ち意向を確認しながら実施したい。 (外部評価) 事業所で看取りを行った事例がある。具体的に看取りの指針を作成し、ご家族に説明されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化については本人、家族の意向を確認しながら、尚且つ主治医とも相談し、ミーティングで適切な対応方法を検討できている。 しかし、終末期への取り組みについては、ホームでこれまでに1名とりを経験したが、まだまだ勉強不足であり、職員にはかなり不安がある。		終末期の取り組みについて、勉強会や、研修に参加する等して、職員が自信をもって取り組めるようになっていきたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族、本人、関係機関より以前の生活についてしっかりと情報収集を行い、ミーティングや、申し送りや情報共有し、リロケーションダメージが最小限になるよう配慮している。またホームから退所される際には、詳細な介護サマリーや、電話連絡等で情報を提供している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 個人情報の保護については、ミーティング時に徹底するよう話している。ホーム便りや、役場事例検討会で使用する個人情報についても、家族より同意を得ておこなっている。プライバシーや、自尊心を傷つけない対応は常に心がけているが、言葉掛けの難しさもあり、指示的な声掛けになってしまう時もある。日々の言葉かけや、言葉遣いについては、ミーティングで見直している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員は、ミーティング時、「誰が聞いても不快にならないような言葉遣い」を行うことについて話し合われた。</p>		<p>利用者に対し、より尊厳を持った関わり方について、ミーティングで話し合っ行ってきたい。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 本人の話聞き、思いが表出できるよう支援している。引き続き自己決定できる場面作りを行っていきたい。思いを表出できない方へも、思いを察しながら配慮している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 一人ひとりの体調に合わせ、その時の本人の気持ちを尊重しできるだけ、その人に合ったペースで暮せるよう支援している。畑の世話をしたり、ご主人のお見舞いに病院へ出かけたり、喫茶店に行ったり、ホームの手伝いをしてもらったり、テレビを見たり等。しかし、職員の勤務の都合に合わせる場面もあり、希望に添えないこともある。</p> <p>(外部評価) 職員を「おかあちゃん」と呼ばれている利用者の姿もあり、職員は、利用者個々のことを家族のつもりで接していると話しておられた。</p>		<p>そのつどミーティングで、業務改善やかかわり方について、よりニーズにあったケアができるよう検討していく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の希望を聞きながら、できる限りの支援を行い、身だしなみを整えられるようさりげなく気を配っている。女性には、お化粧したり、マニキュアをつけたりしておしゃれを楽しむよう支援している。理容・美容については、近隣の理美容院を利用したり、美容師の訪問で散髪し本人の希望の髪型にしている。利用者が自ら、まゆげカット等もお願されしてもらっている方もある。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者が畑から野菜を収穫したり、食材を職員と共にスーパーへ買い出しに出掛けたり、一緒に下ごしらえをしたり、利用者それぞれの能力に応じ、お手伝いをしていただき共に食事を作っている。片付けも出来る方には自分でしてもらっている。毎食手作りで、旬の食材を取り入れた家庭料理を提供している。 (外部評価) お餅つきやおせち料理等、季節に応じた料理作りをされている。手作りにこだわり、地元の食材を多く使っておられる。利用者と職員で一緒に作って、一緒に食事を楽しんでおられた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 晩酌をしたり、牛乳やコーヒーを飲んだり、ドーナツを食べに出掛けたりと、利用者個々の嗜好を楽しめるよう可能な限り支援している。ただし、喫煙に関しては火災の危険もあり禁煙をお願いしている。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンの把握に努め、トイレへの時間誘導、声掛けを行い、パットや紙パンツの使用を減らすよう支援している。また、パットや紙パンツを使用している方へは、清潔が保てるようこまめに交換したり、陰部の洗浄を汚染の度実施するなどしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)			
				入浴が自立している方は、いつ入浴してもらっても良い。しかし介助の必要な方は、入浴回数や時間帯等を職員の勤務に合わせている。湯加減や入浴の長さは、本人の希望に添って行っている。毎日入浴が必要な場合等は、柔軟に対応している。		より利用者の希望に添いながら入浴が出来るよう、要望を取り入れていきたい。
			(外部評価)			
			事業所では、毎日入浴できるよう準備をされている。一人で入浴することを希望される方も支援されている。ご自分のシャンプーを使っておられる方もいる。		今後、利用者がゆったり入浴できるよう、浴槽を大きめにすることを考えておられた。	
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)			
			日中なるべく活動的に過ごし、夜間良眠できるような生活リズム作りを心掛けている。夜間起きて来られた折には、じっくり話を聞いたり、飲み物を飲んだり、側で見守ったりなどし、再入眠できるよう支援している。眠剤を使用している方は、薬の効き過ぎがないよう観察をおこない、主治医に報告し調整に努めている。			
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)			
				利用者それぞれがホーム内においてお手伝いや、出来る事をしていただき、生活に張り合いが感じられるよう支援している。ホーム内での楽しみ事や気晴らしとして、歌を歌ったり、お出掛けをしたり、季節ごとの行事を行っている。		更に利用者一人ひとりの生活歴や、家族からの聞き取りを行い、ホームでの楽しみごとを増やしていきたい。
			(外部評価)			
			居間の神棚に飾る「さかき」を取りにいかれる方や畑の野菜作りをされる方、俳句を詠まれる方もおられる。毎年、小学校の運動会には、紙の花を作り、プレゼントされ喜ばれている。お礼に小学校からお手紙もいただいている。図書館で本を借り、読まれている方もある。			
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)			
			金銭管理については、出来る方にはしていただいている。出来ない方に関しては、買い物の支払い時などに支援しながら、出来る部分で実施していただいている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			毎朝、外の畑に出て野菜の収穫や水やりをしたり、庭掃除をしたり、利用者の気分や希望に応じて、日常的に散歩やお出掛けを行っている。		
			(外部評価)		
			ご近所のお友達を訪ねて行かれる方がいる。季節ごとにお花見に出かけたり、日々の買い物に職員と行かれる方もいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			お花見をしたり、ドライブをしたりと外出への支援は行っている。個別の外出についても、職員の都合がつかく限り支援を行っている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者が希望すれば、いつでも自由に電話をかけたがり、手紙をかいいたりすることができるよう支援している。また写真入りの年賀状や暑中見舞いを出し、遠方の親族にも様子をお知らせしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族や友人の方が、ホームへ来訪されたときは、居室でじっくり話せるようお茶等、お持ちするようにし、職員は常に笑顔を心掛け、訪問しやすい雰囲気づくりに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 禁止対象となる拘束行為の実施はない。身体拘束の禁止については、全職員が正しく理解できているわけではない。		職員全員が身体拘束に対し、正しい理解を深められるよう、勉強会を実施したり、研修等に参加したい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員の目配り気配りで、日中は全く鍵をかけないケアを実践している。ただし外門には、外に出たらわかるようチャイムを使用している。 (外部評価) 玄関に鍵をかけず、事業所入り口の門の扉には、チャイムを付けて出入りがわかるようになっている。		職員は、利用者一人ひとりの居場所を把握し、鍵をかけていない事で事故が起こらないよう気をつける。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中職員は、利用者の居場所を常に把握するように努め、個室におられる方へもさりげなく訪室し、見守りをおこなっている。夜間も定期時間に必ず巡回し、異常の早期発見に努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) いろいろな物品に対して職員や家族と話し合い、利用者個々の能力に応じ、保持を検討している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 火災については、年に2回4月、10月に避難訓練を実施している。 事故防止はインシデント報告書や、ノートにヒヤリハットを記入し、毎月ミーティング時に再発防止について話し合いをもっている。また他のホームで起こった事故等に対しても、ホームで振り返りをおこなっている。		すべての事故において、起こりえることを想定し、繰り返し訓練をかさねていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的には訓練を行っていないが、消防署の救急講習を順次受講し、急変時の対応について学んでいる。		全職員が救急講習を受講し、緊急時の対処方法について、スムーズに実施できるよう訓練を重ねたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 近隣の方へは、運営推進会議や、日頃のお付き合いの中で災害時に、協力が得られるよう働きかけている。 (外部評価) 年に2回、の訓練を行っておられ、内1回は、消防署の指導のもと避難訓練を実施されている。2階に居室のある利用者からは「私はベランダから助けてもらう」と提案された。民生委員や老人会長の方にも避難訓練の様子を見ていただいた。		災害時に、どのように避難し、職員がどのように行動するかシュミレーションを重ねていきたい。 さらに、今後も、立地条件や建物の構造も踏まえ、いろいろな災害、時間帯等を想定して訓練を重ねていられることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に、起こりえるリスクについては、家族に話している。また利用者の状態の変化によって、そのつど起こりえるリスクについても説明している。また、安全を優先しすぎて、自由な暮らしの妨げになっていないかミーティングで話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルサインのチェックを行い、異常の早期発見に努めている。また、異変を発見した時は、ホーム看護師や管理者に速やかに報告し、指示を仰ぎ早めの対応を心掛けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者が飲んでいる薬は、何であるか直ぐわかるようケース記録に綴じ、説明書も目を通すことが出来るようにしている。しかし全職員がすべての薬について、正確に理解できているとはいえない。 服薬の支援は個々の状態に合わせ支援できている。また服薬後の、症状の変化についても十分観察できている。		ミーティング等で、利用者一人ひとりの薬について勉強会を行ない、薬に対する知識を深めていく。また、処方時には薬剤師より、こまかく説明をうける。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分摂取には特に気をつけ便秘を予防している。また、散歩を行ったり、野菜や果物を多く摂取できるメニューを心掛けているが、緩下剤に頼ってしまっている所もある。		利用者個々の排便状態を把握し、便秘の原因を探る。自然排便に近づけられるよう食事、運動共に職員全員で積極的に取り組んでいく。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 朝の洗面時や、入眠前の歯磨きや入れ歯の手入れは実施できている。昼食後やおやつ後の口腔ケアは、うがいなど声掛けをしている。また口臭にも気をくばり、洗口液等も利用している。		歯磨きを拒否される方への対応をいろいろ工夫してみる。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 脱水には特に気をつけ、一日の水分量1200cc以上を目標に摂取していただいている。栄養の偏らない献立にし、利用者の食べる量や、残した食材についても把握するよう努めている。また、血液データなどからも、全身の栄養状態をチェックしている。認知症の重度化で十分な食事がとれない場合は、主治医と相談し経管栄養剤等も利用している。 (外部評価) 塩分に気を付けて食事作りをされている。おやつに寒天を用いられたり、水分を摂り難い方には、ポカリスエットでゼリー等も作っておられる。夜間は、ストロー付きのペットボトルを居室に準備し、水分補給に努めておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 高齢者施設における感染症対策マニュアルをもとに対応している。また、年1回は感染症の研修会に必ず参加し、ミーティングで報告している。 塩素を用いたホーム内の掃除や、職員・利用者の手洗い、アルコールによる手指消毒を丁寧に行い、日頃から感染症を予防している。 インフルエンザは、毎年利用者、職員ともに全員実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>手洗いの励行を呼びかけ、毎日布きんやまな板の消毒除菌を実施し、冷蔵庫や食器棚など定期的に掃除して衛生管理に努めている。 食材はホームの畑で収穫した物や、地元のスーパーなどで新鮮な材料を購入し調理している。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者や、家族、友人の訪問など利用しやすい玄関となっているが、近隣の方が気軽に出入りできる感じとは言えない。</p>		<p>気軽に出入りしていただけるよう、運営推進会議等を通じた関係づくりを継続していきたい。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>和風住宅を改築しており、とても家庭的な雰囲気がある。玄関には常に、花や季節感のある飾り付けを行うようにしている。また、光や音、室温には気を配り、不快な空間にならないよう配慮している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関や居間には、ススキやコスモスを生けておられた。階段には昇降機が設置されているが、現在使用される方はおられない。2階には、緊急時、ブザーを押して知らせるようになっている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>民家改造型のホームで、共有空間に限りはあるが、リビングや食堂で、それぞれ自由に過ごされている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時に使い慣れた馴染みの日用品や、写真や日記等を持参していただいている。しかし、持ち込みの少ない方もおられる。入居後は、利用者個々の居心地の良い空間となるよう、居室を飾ったり、家具を配置するなど職員は支援している。 (外部評価) 入居時の案内には、馴染みの物の具体例を示し、持ち込みをすすめておられる。居室には、タンスやソファが持ち込まれ、ご家族の写真を飾ってある居室もうかがえた。愛用の化粧品等も並べてあった。		よりその人らしい空間で、心地よく過ごしていただけるよう、家族へ声かけをおこない空間作りに協力を得る。 共用空間に接した居室によっては、ご本人のプライバシーに、さらに配慮が望まれる場面も見受けられる。居室によっては、ブラインド等でも工夫はされているが、利用者の立場に立ってさらに話し合ってみてはどうだろうか。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気や、適切な汚物の処理を徹底し、不快にならないよう特に気をつけている。また温度調節は利用者個々の体調に配慮し、適切な環境となるよう調節している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 民家改造型のホームであり、バリアフリーではないが、必要な場所に手摺りを取り付けたり、職員が安全に気を配っている。危険が発見された場所についても管理者に報告し、早急に改善している。		利用者の状態に応じ、安全な環境も変化するので、そのつど安全が確保できるようミーティングで見直しをおこなう。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 混乱しないように、部屋やトイレには札をつけている。利用者個々に応じて、工夫しわかりやすくなるよう配慮している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 広くはないが庭があり、水撒きや植木の手入れをしたり草引きをしたりと活動していただいている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活の中から、本人の望む暮らしについてくみ取るよう努力し、ホーム内での思いや、希望はなるべくかなえられるよう努めている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	短時間ではあるが、お茶を飲みながらや、ゆっくりと話しをする時間は毎日ある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ホームでは食事の時間や入浴の時間など、ある程度決まった生活リズムはあるが、その中で思い思いに本人のペースで、起床や就寝の時間、日中の時間など自由に過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出したり、日々のお手伝いの際や、利用者の誕生日のお祝いの席等で、笑顔や生き生きとした表情が見受けられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者それぞれの希望を聞きながら、可能な限り外出支援を行っている。個別での外出希望にもなるべく対応している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関からの往診や、訪問看護ステーションとの連携ができています。またホームに看護師も確保できており、職員も日々の健康状態の観察を丁寧におこなっている。緊急時の体制も整っており、素早く対応できるようになっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	どの利用者もホームを我が家のように思われ、安らぎを感じていただいているように思う。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の来訪時には、利用者の様子を話したり、ホームへの要望を聞いたり、相談に応じるなどしてコミュニケーションをとり、信頼関係が築けるよう努力している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	近所の方が、野菜や果物などを持ってたずねて下さる。また、町内の利用者の馴染みの方が、気軽に訪問して下さったりしている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	散歩に出掛けた際には、挨拶、声かけを近隣の方からしていただけるようになった。買い物や、地域での行事に参加した際にも、温かく見守っていただいたり、手助けしていただける場面が多くなった。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ホーム全体が大家族のように、にぎやかに明るく、過ごしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の訴えに耳を傾けながら、満足していただけるよう日々支援している。不満の声はほとんど聞かれないが、遠慮などもあり本音はわからない部分もある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② ② ② ② 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族が来訪された時は、必ず近況の報告をしたり、遠方の家族へも電話や書面で連絡を取り、ホームへの要望を表出しやすい関係づくりに努めている。不満の声はあまり聞かれないが、現状に満足することなく良好なサービスが提供できるよう、これからも努力していきたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

和風住宅の民家改造型のホームで、昔の古民家暮らしを再現したような、雰囲気があるホームです。ご家族様が面会に来られても、田舎の祖父母のお家へ遊びに来たという感じです。事業者・管理者も近隣に住み、はじめから地域とのつながりも強く、スタッフもほとんどが町内の方で、ご近所の方も数人勤めていただいています。平成15年のホーム開設当初からのスタッフも多くおり、馴染みの関係を大切にしながら、利用者様を自身の両親のように思い日々支援させていただいています。

当ホームでは特に、食べることは利用者様の楽しみの一つであると考え、インスタントは使わず、畑で収穫した野菜を調理したり、旬の食材を使って手作りのおいしい家庭料理を作る事を心掛けています。

また、健康管理には気を配り、日々の感染症予防に努め、掃除や手洗いなどを丁寧に行っています。医療面でも、ホームに看護師がおり協力医療機関との連携も十分とれており、常に素早い対応ができています。

認知症になっても、尊厳を持ちながら、自由に穏やかに、そして楽しく安心して、自分らしく暮していただけるようスタッフ一丸となって支援しています。